

## 北京における野生オシドリ群の新発見

侯 笑 如

北京観鳥会

訳 福井和二

北京観鳥会と自然の友は 2006 年初の連合行動のテーマで“北京の野生オシドリ保護”として北京地区の生息地、個体数、行動の基礎的調査を行ない、関連して保護宣伝を行った。30名のボランティアが49回の野生オシドリの調査を行ない、191羽のオシドリを記録した。そのうち市街地区に集中していたのは紫竹院公園で、最多の23羽を記録し(2006年4～5月)、現在のところ近郊地域で集中しているのは怀柔市の懷沙河流域である。2006年4月オシドリの正確なデータを収集しするために、中国観鳥ネットワークステーションでは“オシドリ調査データバンク”を立ち上げた。2007年7月に紫竹院において巣箱設置と保護宣伝を行った。

2007年7月、北京の怀柔懷沙河九度河鎮の観察者が、水長城公園において100羽を超えるオシドリについて3年間観察していることを紹介した。このグループはその後重点的にこの地域を調査し、7月に40羽ほどの野生オシドリが生息し、その中に少なくない数の幼鳥を観察した。2007年10月19日、150羽を超えるオシドリを観察。この地域のオシドリ群発見による“北京野生オシドリ保護”の呼びかけは、人びとの興奮を誘った。

“オシドリ調査データバンク” <http://www.cbw.org.cn/mandarin/>